

徳川家康

「長いがまんで天下人」



「じつとまつ」。それが、三河の国（今の愛知県）のぶしょう・徳川家康のとくいわざでした。子どものころは竹千代とよばれ、今川家の人じちとして、がまんの毎日をすごしました。

やがて家康は、織田信長や豊臣秀吉といった強いぶしようにつかえながら、自分のじだいがくるのを、じつとまちつづけました。

一六〇〇年、家康は天下分け目といわれた関ヶ原の戦いに、見ごとにかちました。そして一六〇三年、江戸（今の東京）に幕府をひらきました。戦いのないよの中の、はじまりです。

江戸幕府は、そのあと二百六十年もつづきました。「まつことのできる人が、さいごにかつ」。家康の生き方は、今もたくさんの人のお手本になっています。

せんたく(1)

家康はどこに幕府をひらきましたか？
えらんで○をつけましょう。

① 江戸

② 京都

③ 大阪

せんたく(2)

江戸幕府は、どのくらいつづきましたか？
えらんで○をつけましょう。

① 五十年

② 百年

③ 二百六十年

きじゅつ(1)

天下分け目といわれた戦いは何でした？

きじゅつ(2)

家康の子どもころの名前は何か？

かん字

かん字に直して書きましょう。

(1) ゆき

(2) きしや

(3) じかん

こたえ

徳川家康とくがわいえやす

せんたく

(1) ①
(2) ②
(3) ③

きじゅつ

(1) せきがはらのたたかい
(2) たけちよ

かん字

(1) 雪ゆき
(2) 汽車きしゃ
(3) 時間じかん